



文：小川 康成

9月に入ろうかというのに気温が40度に迫る日が続き、秋がいつ訪れるのか気になるこの頃です。この夏は、暑さであり出かけることもなくエアコンの効いた部屋で読書をたっぷり出来ましたが、年々と日本の美しい四季が失われていくようでさみしい気持ちにもなります。情緒豊かな日本人の感性と微細な表現も巧みにできる日本語、この言葉を生み出した背景も四季折々の季節の表情を感じながら生きてきた日本人ならではの感じます。「七面倒くさい」と感じる方の中にはいるようですが（笑）お客様にお伝えするという仕事柄言葉は大切だと強く感じます。

物価上昇と保険のかけ方

先日、2026年1月に大手保険会社各社は、自動車保険料を値上げすると発表しました。ここ数年、毎年1月に値上げしておりますが、今回は事故の増加に加え、自動車部品や修理費の高騰が想定以上のペースで進み、例年以上の値上げになるようです。

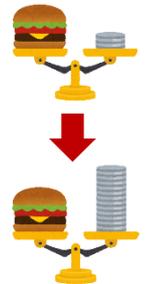
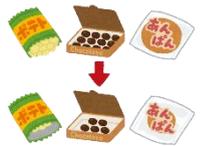
住宅の価格や自動車の価格も上がっています。住宅はコロナ以前と比べると資材価格が28%上昇、人件費も毎年上がっているため、戸建て住宅の平均価格は10年目と比較して約15%上昇しています。自動車も10年間で10%~25%の値上げとなっておりますが、自動車の場合、資材価格・人件費の上昇以外にも、レーダーブレーキや衝突防止装置などの安全装備が標準装備により、値上げ以上に価格が上がったと感じられます。

建物や車の価格が上がるという事は、紐づいて自動車保険や火災保険の価格にも反映されます。火災保険の場合は、ゲリラ豪雨の増加や台風の大規模化による支払いの増加も相まって各保険会社10年連続赤字という状況です。赤字解消に向け、保険会社は毎年値上げを繰り返しており、なかには5年などの長期契約を販売中止する会社も出て来ています。他にも築40年以上など建築年数の古い住宅を新たに引き受けない保険会社も出てきており商品選択に工夫が必要です。

インフレと貯金

保険も含めてモノの価格が上がるという事は、現金貯金が目減りするという事になります。つまり、100万円で買えるモノの量が以前よりも少なくなるまたは同じ量だと価格が上がるという事です。いざという時の為に現金での貯金も大切ですが、ある程度の現預金がある場合、それ以上の資金は運用型の商品に預けるなどインフレに負けない程度運用できれば、物価上昇に対応できることになります。

生命保険の商品トレンドも運用成績に応じて保険金や返戻金が増加するタイプに移ってきており、一時ブームになったドル建て商品ばかりではなく、国内の金利の上昇を見込んで円建てでの運用や受取の商品も増えて来ております。人生100年など老後の生活資金準備、相続税対策など色々な時に役に立てて貰える生命保険商品も数多くのラインナップが有ります。



保険料の値上げは何ともありませんが、補償をしっかりと検討することで余分な保険料を減らしたり、かけ方を工夫する事で値上げを少しでも回避するなど負担を減らしていきたいところです。また、生命保険の長期保障は運用成果も反映されるものに切り替えるなど、インフレによる物価高に対応していきたいですね。



メンバー 近況報告

チャット GPT

久保寺 夏海



最近は普通の生活のなかでも人工知能（AI）を使ったサービスに触れる機会が増えてきました。チャット GPT もそのうちのひとつで、文章チャットスタイルで質問への応答、文章の要約、電子メールやコードの作成、小説の創作などができる生成 AI です。私も先日初めてチャット GPT を使ってみたのですが、こちらの質問に即座に回答してくれるので確かに便利だなあと感じました。質問に答えるだけでなく写真加工も可能で写真データをチャット GPT に送り、「アニメ風」や「水彩画風」などと指示すると元の写真を指示通りに加工してくれるので面白いです。

便利なサービスですが学生が課題をチャット GPT にやってもらったり、他人には話しにくい相談や悩みなどをチャット GPT に話し友達のように接している人もいるそうです。世の中が便利になるのはいいことですが人々が自分の頭で考えなくなり、人と人との関わりも薄れて行ってしまう気がします。AI であれば面倒くさい課題もすぐに終わるし、相談事も人間関係などを考えなくてよいので楽という気持ちもわかりますが、「AI が友達で一番の相談相手」と聞くとなんだかさみしい気持ちになってしまいます。AI とは上手に付き合い、利用していきたいですね。

体のケアを大切に

岩瀬 英之



毎年、この時期になると暑くてゴルフやテニスの練習もなかなかやる気が出ないことが多かったのですが、なんとか今年は5月頃から週2日くらいは外で運動しようと思って続けてきました。5月、6月は1、2時間テニスただけでもかなりしんどくなったり、休みながらしかできない日が多かったのですが、8月に入ってから暑さに体が慣れてきたからなのか半日くらい運動しても平気になってきました。暑いことに変わりはないので、油断して水分を取っている量が少なくと熱中症気味になってしまうことはありました。運動する量は維持できていたので、汗をかいて少しは痩せるかなと期待していたのですが、悲しいことに結局食欲も維持してしまったり、夜遅くに食べてしまったりで痩せられなかったです、、、最近、熱中症より体重が増えていることによる怪我の方が心配で、負担がかかっている腰や足が痛くなることが増えました。年を重ね、体への影響の出方が変わってきたことを実感していますが、体重を落とすこととストレッチをすることで長く運動していける体作りも心がけようと思います。9月には5連覇がかかった瀬戸のダブルスや初参加の100歳ダブルスもあるので、怪我がないように練習していきたいと思います。

夏の思い出

小川 真紀

夏休み中の娘は、半日の部活を終えた後にお友達と会ったり、映画を見に行ったり、電車に乗って少し遠くへ出かけたり、活動範囲が広がったりと、友達同士で行うことが増えて、今年は中々私達と遊ぶ時間が少なくなりました。中学2年生の夏休みは、子供の成長を感じる夏となりました。

娘とあまり出かけていない中、クラシックコンサートチケットのお話を貰い、コンサートのハードルを高く感じましたが、生の演奏に興味があり2人で行きました。色々なジャンルの音楽を聴きますが、クラシックを選んでは聴いていないので、プログラムを見ても演奏される曲を知らないかも？と思っていましたが、曲名は知らなくても聞いた事が有る曲などあり良かったです。

ピアノとチェロのデュオ演奏者の表情や息遣いが聞こえるくらいの距離で聴くことができ、とても貴重で優雅な時間を過ごせましたし、国内外のコンクールで優勝などしている若い演奏の方だったので、立ち振る舞いなどが少しさげすみなく新鮮な感じも有り、ほっこりしました。

娘と2人でスマホの電源を切り過ぎた2時間は、とてもステキな夏休みの思い出となりました。

